



広い袖山牧野を自由に駆け回る牛たち。円内は移送車から恐る恐る降りるおっかなびっくりの牛

緑のじゅうたんに牛群 袖山高原シーズン到来

緑のじゅうたんを牛の群れが駆け回っています。5月16日と17日の2日間、町内の酪農家から預かった仔牛346頭が袖山牧野に入牧しました。これは、町畜産開発公社が行う牛の預託事業で5カ月～15カ月の未経産のホルスタインを、5月中旬から10月中旬まで夏期放牧するもの。牛の体力増強や飽食、また、飼料高騰による農家の経営負担や労力の軽減にも役立っています。

「農家からお預かりした大切な牛、病気やけがに注意し、授精の時期を見逃さないよう観察します。私たちにお任せください」と、放牧を監視する菅野康明さん（田代）。車から恐る恐る降りた牛たちは、はじめは戸惑っている様子でしたが、すぐに広い牧野を元気に駆け回っていました。



対戦成績

葛巻町	76.0%
色麻町(宮城県)	66.0%
苫前町(北海道)	73.0%

国際チャレンジデー 15年連続の金メダル

十五回目の参加となる国際チャレンジデーは五月の最終水曜日の二十七日、町内全域で行われました。対戦結果は、葛巻町七六・〇%、宮城県色麻町六六・〇%、スペシャルチャレンジの北海道苫前町七三・〇%で、両町に勝利を収めました。町内では、晴天にも恵まれ早朝から各自自治会や学校、事業所などでラジオ体操やウォーキング、軽スポーツなどに約六千人が参加。新緑のさわやかな風に吹かれ、心地よい汗を流していました。また、参加率七六・〇%で昨年を二・九ポイント上回り、さらに六十一%以上に与えられた「金メダル」を十五年連続で獲得しました。



④まちの駅では買い物帰りに輪投げに挑戦⑤リハビリ中の仲間たちの「希望の会」では、ねらいを定めてスカットボール



商工会工業部会はソフトボールで交流



葛巻保育園はウォーキングに出発だ！



花束を手に、鈴木町長と家族らに囲まれ、満100歳の誕生日を迎えた林フツノさん（写真中央）

フツノさんおめでとう 園児が100歳をお祝い

桜満開の5月1日、林フツノさん（小屋瀬）がめでたく満100歳の誕生日を迎えました。

家族が見守る中、お祝いに駆け付けた鈴木重男町長は「家族と一緒にいっぱい食べて、笑って、話しをして、もっともっと長生きしてください」と花束などを贈りました。

林さんのお宅には、小屋瀬保育園の園児らも大きなバースデーカードを持って訪れ、「おめでとうございませう」と元気な声で祝福。フツノおばあちゃんは、かわいい子どもたちに目を細めていました。長生きの秘訣は「いっぱい食べること」と、訪れた町の関係者らに張りのある元気な声で話し、「食べてください」とお菓子を勧める気遣いのフツノさん。最後は、鈴木町長に自分のまんじゅうを半分に分けて手渡しました。お元気でますます長生きしてくださいね。

みんなで地域を元気に 前里でかかしがお迎え

前里地区では5月1日、公園や県道沿いにかかし11体を立てました。「地域のために何か役立ちたい」という老人クラブの皆さんの声がかきかけで、11人がかかし作りに挑戦。それぞれが持ち寄った衣装を着せ、思い思いのかかしが完成しました。これからの観光シーズン、交通安全祈願やお客様を迎える前里の顔となって活躍します。

また、地区にはサイカチの木が十数本あり、昔はサイカチの木を好むカブトムシが多かったことから、再びカブトムシの里を復活させようとして取り組んでいます。「小さなことからみんなで取り組み、地域を元気にしたい」と端坂秋雄さんは抱負を語りました。



11体のかかしを立て終え、一緒に記念撮影。「かかしはどれ？」

高齢者の安心また一つ 病院等にシルバーカー

葛巻町婦人連絡協議会（柴田幸栄会長、会員126人）は5月14日、葛巻病院とJRバス葛巻駅にそれぞれシルバーカー2台を贈りました。これは、2月に行われた同会の大演芸会益金を充てたもの。「おたすけカー」と名付けられ、買い物かごや休憩用のイスにも早変わりし、高齢者などに多く利用されています。

柴田会長は、自宅近くの郵便局を訪れる高齢者を見て、何か役立つものと思い付いたのがシルバーカーで「病院から薬局、町への用足しなど少しでも皆さんの“おたすけ”になってくれたらうれしいです」と笑顔で語りました。

同協議会寄贈のシルバーカーは、一昨年贈った5台と合わせて9台となりました。



葛巻病院にシルバーカー2台を届けた町婦協役員と病院関係者ら